

番号	事業者名	系統名	備考
1	南海バス(株)	美木多線	
事例1(貨客混載の取組)		適用(可or否)	否
【堺市】 ・車両の運用上効率的なダイヤで運行しており、荷物を積み下ろしするような時間を設けていない。 【南海バス】 ・効率的な車両運用を行っているため、車両限定的運用、貨物運搬時間を加味すると運用は困難。 ・多客利用時に荷物の積み下ろし作業は、混乱と事故を招く恐れがある。 ・当社労働条件上、乗務員に荷物のチェックを行わせることは不可能。			
事例2(バス路線の再編)		適用(可or否)	否(実施済)
【堺市】 ・西区役所前での乗継をなくし、堺東駅等の商業エリアと接続することにより、利便性の向上及び効率化をはかる。(平成29年8月26日に路線の再編済。) 【南海バス】 ・既に福泉高校、西区役所、南区役所(いずれも堺市)へ立ち寄りを行っており、近辺に追加できる商業施設や公共施設がない。			
事例3(路線バスへの混乗化)		適用(可or否)	否
【堺市】 ・既に沿線小学校において路線バスを通学に利用しており、他に混乗できそうな他の交通手段は見当たらない。 【南海バス】 ・他に路線バスへ混乗できそうな交通手段は見当たらない。			
事例4(地域住民の生活利用と観光利用の混乗)		適用(可or否)	否
【堺市】 ・この路線のエリアでは観光利用できそうな箇所は見当たらない。 【南海バス】 ・路線運行上に観光活用ができそうな箇所は見当たらない。			
代替輸送手段への見直さず、バス系統として維持する必要がある理由(15人/日未満 or 平均乗車密度5人未満)			

番号	事業者名	系統名	備考
3	南海ウイングバス(株)	山直線	平均輸送密度5人未満
4	南海ウイングバス(株)	東ヶ丘線	平均輸送密度5人未満
事例1(貨客混載の取組)		適用(可or否)	否
【岸和田市】 ・現在の所、物流事業者やその利用者からの具体的な要望が無い。 【南海ウイングバス】 ・効率的な車両運用を行っているため、車両限定的運用、貨物運搬時間を加味すると運用は困難。 ・多客利用時に荷物の積み下ろし作業は、混乱と事故を招く恐れがある。 ・バス運行中、乗務員に荷物のチェックを行わせることは困難。			
事例2(バス路線の再編)		適用(可or否)	検討
【岸和田市】 ・都市計画道路泉州山手線の延伸や拠点の形成に合わせて公共交通ネットワークの再編を進め、拠点に形成される交通結節点を中心に地域特性を活かした人・物・情報が行き交う地域拠点、広域交流拠点の形成を促進し、公共交通による市内外のアクセス改善を図る。 【南海ウイングバス】 ・岸和田市と交通ネットワークのあり方について連携をしていきたい。			
事例3(路線バスへの混乗化)		適用(可or否)	否
【南海ウイングバス】【岸和田市】 ・他に路線バスへ混乗できそうな交通手段は見当たらない。			
事例4(地域住民の生活利用と観光利用の混乗)		適用(可or否)	可
【岸和田市】 ・昨年度、終点停留所である道の駅愛彩ランドにシェアサイクルを設置。異なる交通モードを組み合わせることで観光利用との相乗効果を図る。 【南海ウイングバス】 ・バス事業者として協力できることがあれば、岸和田市と連携をしていきたい。			
代替輸送手段への見直さず、バス系統として維持する必要がある理由(15人/日未満 or 平均乗車密度5人未満)			
【岸和田市】 ・当該路線は岸和田市内地域拠点と市外の拠点を連絡し、通勤、通学、買い物といった日常生活に係る移動や観光等に至る多様な目的での移動を支える路線として生活利用に欠かせない路線となっている。また、通勤・通学利用も多く、代替輸送は困難である。			